



新風

令和2年4月10日
門川町立門川中学校
校長 濱砂 光弘

門川中校長室だより

第1号

新年度のスタートにあたり

4月6日（月）は第一学期始業の日、4月9日（木）は第74回入学式でした。全校生徒がそろって、令和2年度がスタートしました。生徒数は、以下のとおりです。

第1学年	第2学年	第3学年	合計
162名	169名	150名	481名

昨年度末から、新型コロナウイルス感染症が流行し、現在も終息の目途が立たない状況です。そのような中、「一斉臨時休業」を経て、始業日から学校再開になりました。

「一斉臨時休業」中の生徒がいない学校は寂しく、卒業式は縮小、終業式や離任式も放送で行うなど、例年と異なる形での実施を余儀なくされたところですが、学校は再開しましたが、その状況は変わらず、着任式、始業式は放送で行い、入学式も縮小した形で挙行了しました。特に、新入生には寂しい思いをさせましたが、出席を控えた在校生や来賓の皆様の祝福の声は、新入生にも届いたものと思います。

昨年度末に、西門川中学校が閉校になり、本校が門川町唯一の中学校になりました。新生門川中学校として、保護者や地域の皆様の期待に応え、生徒ともに『地域とともにある学校』づくりをめざしていきたいと考えています。

本年度は、学校経営の基本の考えを、『夢の実現』としました。昨年度よりも、「一歩前進、一段高く」という気概をもち、職員と生徒と保護者・地域の皆様とが手を取り合い、生徒の夢実現の支援を行いたいと考えています。



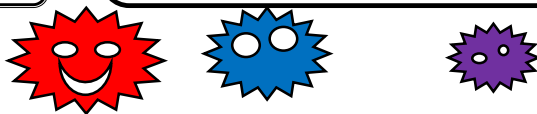
【入学式の様子】

- 「授業」をよりよく創る。
→学ぶ意欲を高める授業、「問い」をもたせる授業
- 「学級集団・学年集団」をよりよく創る。
→仲間を尊重する言動、プログラム委員会の充実
- 「部活動」をよりよく創る。
→量より質の練習、仲間と励まし合う雰囲気づくり
- 「生徒会活動、学校行事等」をよりよく創る。
→生徒一人一人が役割を意識した活動、地域人材の積極的な活用

【重点目標】

- 1 確かな学力の育成
（「授業」をよりよく創る。）
- 2 豊かな心の育成
（「集団」をよりよく創る。）
- 3 健やかな体の育成
（「部活動」をよりよく創る。）
- 4 地域との連携
（「学校行事等」をよりよく創る。）

新型コロナウイルス感染症に係る対応



新型コロナウイルス感染症防止対策については、学校では以下の点に留意しています。主なものを紹介します。ご家庭でも不要不急の外出を避けるなど、防疫をお願いします。

- 検温チェックと健康観察の徹底
→チェックカードに体温を記入させて、学級担任が確認しています。また、職員も検温し、毎日管理職が確認しています。生徒も職員も、風邪等の症状がある時は、無理せず休養をとります。
- 3つの密（密閉、密集、密接）の回避
→全校生徒を集めることはしていません。単学年を体育館に集めるときは、換気を十分に行い、間隔をとっています。授業中の換気や向かい合っの給食や活動も避けています。
- 手指の消毒
→手洗いはもちろんですが、登校時と給食前には消毒薬で消毒しています。
- マスクの着用
→生徒も職員もマスクを着用しています。マスクの品薄状態が続いていますので、手作りマスクでも構いません。マスクの着用をお願いします。

新型コロナウイルスに係る状況は日々変化しています。生徒に文書をもたせたり、安心メールや学校ホームページで情報提供したりしています。定期的な確認をお願いします。また、安心メールの登録・更新をできるだけ早急をお願いします。